

日本学術会議地球惑星科学委員会IUGG 分科会

IAMAS 小委員会

(第 25 期・第 3 回) 議事要旨

1. 日時：2022 年 10 月 26 日（水）12:30-13:45
2. 会場：北海道大学学術交流会館第 1 会議室（ハイブリッド開催）
3. 出席者：中村尚[委員長]、浮田甚郎[幹事；議事録]、竹川暢之\*[幹事；議事録]、  
三枝信子\*、江守正多、佐藤薫、高薮縁、中島映至\*、松本淳、三好建正  
各委員（計 10 名）[\*オンライン参加]

オブザーバー：佐藤正樹氏

4. 配布資料

IAMAS 小委員会（25 期第 3 回）資料

- 資料 1. 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAMAS 小委員会 第 25 期第 2 回議事録
- 資料 2. IAMAS 小委員会 委員名簿（2022 年度後期）
- 資料 3. IAMAS e-Newsletter (2022 年 9 月号) 抜粋
- 資料 4. IAMAS 次期役員の推薦依頼
- 資料 5. 2023 年 IUGG 総会の概要
- 資料 6. 2023 年 IUGG 総会における IAMAS 関連シンポジウム

5. 議事

- (1) 資料 1 を用いて前回第 25 期第 2 回会合の議事録を確認した。中村委員長から、本年 2 月に逝去した塩谷雅人委員の後任として佐藤正樹氏（東京大学・大気海洋研究所）を学術会議幹事会に推薦中であることが報告された（資料 2）。なお本小委員会にはオブザーバーとして参加。

(2) 最新の国内外情勢に関する情報交換

- i) 中村委員長から IAMAS e-Newsletter (2022 年 9 月号) の紹介があった（資料 3）。また、次回 IUGG 総会（2023 年 7 月 11-20 日、ベルリン）において実施される IAMAS 次期執行部（2023-2027 年、会長、事務総長、4 名の特別委員）改選について推薦依頼及び情報提供があった（資料 4）。

ii) 中村委員長から、2023年7月中旬にベルリンで開催される IUGG 総会の概要（資料5）及び IAMAS 関連シンポジウムの一覧（資料6）について紹介があり、日本気象学会など関連する学協会を通じて積極的な参加を促すことを確認した。

(iii) 松本委員より、GEWEX オープンサイエンスコンファレンス（2024年7月）の日本での開催が検討中であることが報告された。

### (3) その他

その後は日本気象学会学術委員会（佐藤正樹委員長）と合同で、(i) 今後20～30年を見通した日本学術会議による「未来の学術振興」策定に向けた「学術の中長期研究戦略」への公募、(ii) 気象学会学術委員会放射能汚染部会および衛星観測部会の活動状況、(iii) 気象学会「日本の気象学の現状と展望 2022」などについて情報交換を行った。

(i) 「有人・無人航空機による気候・地球システム科学研究の推進」、「地球型惑星のデジタルツイン Digital twins of terrestrial planets」、「衛星を用いた全球地球観測システムの構築」、「水素社会に対応するゼロエミッション航空機の研究開発」の4提案について情報交換を行った。

「有人・無人航空機による気候・地球システム科学研究の推進」提案に関して、キーワードとして新たにカーボンニュートラルを明記すること、考古学など人文系との連携について検討していること、気象学会理事長名で意向表明されたことなどの情報交換を行った。

地球型惑星のデジタルツインは、スーパーコンピュータ上に地球システムの各要素を再現することにより各種実験を行うためのプラットフォームである。今後提案書を作成すること、気象学会理事長名で意向表明されたことなどの情報交換を行った。

リモートセンシング学会から提案予定の「衛星を用いた全球地球観測システムの構築」について情報交換を行った。重要目標としての、長期継続モニタリングによる気候変動の検知、気候変化を支配するプロセスの理解に対する周知の必要性、デジタルツインとの連携についても意見交換を行った。

日本航空宇宙学会が中長期研究戦略として提案予定の「水素社会に対応するゼロエミッ

ション航空機の研究開発」について、水素社会に適する航空機の実現や高空における排気ガスの環境影響評価などがキーワードであること、日本気象学会のサポートが了承されたことなど情報交換を行った。

(ii) 気象学会学術委員会に設置された放射能汚染部会および衛星観測部会の活動状況についてそれぞれ情報・意見の交換を行った。

(iii) 2014年にまとめた気象学会「日本の気象学の現状と展望」の更新について、今年度内を目安に目次・執筆者など具体的な検討を進めることを確認した。